

東京大学医学部附属病院 志摩光祐

1ヶ月という短い間でしたが、とても楽しく研修させて頂きました。診療所研修、離島研修、ふるさと訪問を通して、患者さんの日常を知り、入院前後の生活やかかりつけ医の役割・意義など新しい視点で医療を考えられるようになりました。

また、院内では大学病院と違い、総合診療科的な視点が常に必要であったり、なんでもありな当直対応など、まったく違う環境で戸惑いもありましたが指導医の新田先生に優しくご指導頂きました。

上級医の先生方、看護師さん、総務課の清水さん、津呂橋さん、送迎をして下さった職員の皆様、大変お世話になり素敵な1ヶ月をありがとうございました。



三重県立総合医療センター 山本真優

この1ヶ月はとても短く感じるくらいに充実していたと思います。普段いる病院では、入院した患者さんは自宅に帰れる方が多いため、退院調整のために医療的立場から考えることの重要性を実感できました。診療所研修、病棟研修、院内外来研修などを通して患者さんの受診する医療機関の地域におけるそれぞれの役割なども考えることができたと思います。指導医の鈴木先生には将来を見据えた専門的な知識や技術だけでなく、医師として必要な考え方も教えていただきました。

慣れない環境で緊張していましたが、地域の方も病院の方も、上級医の先生方も、温かく迎え入れてくださる方ばかりでとても心強かったです。1か月間ありがとうございました。



伊勢赤十字病院 大賀勇範

紀南病院での1ヶ月は想像していた以上に刺激的で、多くの貴重な経験をさせて頂きました。

救急外来や内科初診外来での診察から入院加療および退院に至るまでの診療を経験させていただく中で検査や治療を行い内科における入院患者の管理を学びました。

社会的な背景を考慮し、各個人にとって何が最善かを学ぶ良い機会でした。また、患者の退院やその後の生活は、医師や看護師だけでなく、MSWやケアマネージャー、退院先となる施設や病院スタッフといった多くの職種が関わり連携していることで成り立っていくことも再度確認できました。お世話になったスタッフの皆様、1ヶ月間本当にありがとうございました。



三重大学医学部附属病院 山口由記

7ヶ月ありがとうございました。

こちらに赴任する前は7ヶ月の研修ということで長いなと感じていたのですが、終わってみるとあっという間で、少し後ろ髪を引かれるような気持ちにもなっています。地元ということで他の研修医の先生達とは少し目線が違って不便さなどは知っていたりなどありましたが、それでも「地域医療」を行う病院としての役割・立ち回り・周囲との付き合い方など新鮮な学びもありました。

指導医の先生にも恵まれ、坂口先生→中村先生→榮先生とどの先生様々学びを与えていただき医師として成長を実感する日々でした。指導医の先生以外の先生にも沢山良くしていただきました。

また、休日などは観光名所や地元のご飯屋さんに行き、懐かしさを感じるととも、こんなものがあつたんだ!と再発見することもしばしばでした。

来年からは麻酔科医になります。いつ頃戻ってくるのかは未定ですが、また赴任した際にはよろしくお願ひします。

